

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●古川吉洋騎手がJRA通算1万1000回騎乗を達成

7月21日(日)の1回札幌2日・第2レースでサンネリネに騎乗した古川吉洋騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上47人目・現役27人目となるJRA通算1万1000回騎乗を達成しました。

●藤岡健一調教師がJRA通算600勝を達成

7月21日(日)の1回札幌2日・第3レースではファイツオンが1着となり、同馬を管理する藤岡健一調教師(栗東)は、現役18人目となるJRA通算600勝(延べ5598頭目)を達成しました。

●各地で夏のリーディングジョッキーが決まる

7月21日(日)をもって2回福島競馬および3回小倉競馬が終了しました。福島では15勝をあげた戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)が開催リーディングジョッキーの座を獲得。小倉では松山弘平騎手(栗東・フリー)が13勝をあげ、開催リーディングジョッキーとなりました。なお前週の7月14日(日)に終了した函館競馬では、13勝をあげた横山武史騎手(美浦・鈴木伸尋厩舎)が開催リーディングジョッキーに輝いています。

●第14回ジョッキーベイビーズ中部地区代表が決定

7月21日(日)、全国ポニー競馬選手権「第14回ジョッキーベイビーズ」の中部地区代表決定戦が中京競馬場にて実施され、福島翔音さん(小学6年生/乗馬クラブ ファナウステープル)が同地区代表に決定しました。決勝大会は、10月13日(日)、東京競馬場で開催される予定です。

●アリストテレス、カイザーメランジェの競走馬登録抹消

2021年アメリカジョッキークラブC(GⅡ)の勝ち馬アリストテレス(牡7歳/栗東・上村洋行厩舎/JRA通算26戦4勝)、2019年函館スプリントS(GⅢ)の勝ち馬カイザーメランジェ(牡9歳/美浦・矢嶋大樹厩舎/JRA通算54戦5勝・地方1戦1勝)は、6月13日(木)までに競走馬登録を抹消されました。アリストテレスは阪神競馬場で乗馬となり、カイザーメランジェは地方競馬に移籍する予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●JRAの小牧太騎手が地方競馬の騎手免許試験に再合格

1985年に兵庫でデビュー、2004年にJRAに移籍した小牧太騎手(56歳、栗東・フリー)は、地方競馬の騎手免許試験に合格し、8月1日付で兵庫所属になり、騎乗開始は8月14日の予定です。

●兼六園スプリント(金沢)はネッサローズ【各地の主要3歳重賞】

新設の兼六園スプリント(7月7日、金沢、1500^米)は、差のある4番手を進んだ4番人気の愛知からの遠征馬ネッサローズ(牝、父エスポワールシチー)が直線に入って間もなく抜け出し、初の重賞制覇。優駿スプリント(7月10日、大井、1200^米)は、3番手から4コーナーで先頭に立った3番人気のティントレット(牡、父ホックータルマエ)が2馬身半差で完勝、ダート三冠路線からの短距離転向が奏功しました。星雲賞(7月11日、門別、1200^米)は、2番手を追走した2番人気のトラジロウ(牡、父ダノンレジェンド)が残り200^米で逃げ馬を捉えて4馬身差で楽勝、イノセントC、ネクスター門別に続く三つ目の重賞タイトルを獲得しています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1愛オークス～ユーゴットトゥミーがG1初制覇

現地7月20日にアイルランドのカラ競馬場で行われたG1愛オークス(3歳牝、芝2400^米)は、H.クラウチ騎手を背に中団からの競馬となったユーゴットトゥミー(牝3歳、父ナサニエル、英R.ベケット厩舎)が残り200^米で先頭に立って優勝。古馬混合のG1プリティポリースで3着し、1番人気に推されたコンテンツは追い上げ及ばず3/4馬身差の2着でした。勝ったユーゴットトゥミーは今年5月のオクストラリアルフィリーズS(L・芝2320^米)を逃げ切り勝ち。その後、G1英オークスは先行して4着、6月の前走G2リプルスデールSもかかり気味に逃げて4着でしたが、ここは舌を縛った効果もあったか素晴らしい走りを見せてG1初制覇をクラシックで飾りました。

●G1ハスケルS～ドーナックがG1連勝

7月20日にアメリカ・ニュージャージー州のモンマスパーク競馬場で行われたG1ハスケルS(3歳、ダート1800^米)は、L.サエス騎手とのコンビで逃げたドーナック(牡3歳、父グッドマジック、D.ガーガン厩舎)が優勝。6月の前走G1ベルモントS(ダート2000^米)に続くG1連勝としました。1馬身1/4差の2着にG1ベルモントSで半馬身差の2着だったマインドフレーム。